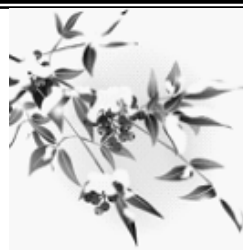


福祉だより ぬくもり

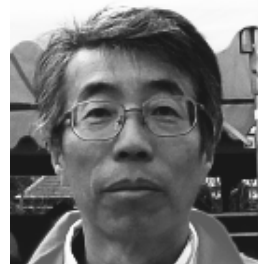


第62号
平成24年4月16日
西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 生田 収



中央公園で開催
されていたフ
リーマーケット
に加え、山口、
北六甲台両ボ
ランティアセ
ンターを中心
に屋台やゲー
ムを出店し、
第一回目が始
まりました。

今から十二年前「山口地域に
住む人が気軽に集まって楽しめ
るまつりができないだろうか」



平成二十四年度さくらまつり
地域の地域による地域

社協山口支部長 梶 泰 享



「雪まつりやなあ」とい
う中学生の声が聞こえて
くるほどの季節はずれの
寒さの中、「皆さんに集
まっていただけるだろう
か」と不安いっぱいの開
催となりましたが、こん
な心配はすぐに吹っ飛ん
でしまいました。例年よ
りも多くの来場者（主催
者発表三、五〇〇人）があ
り、ボランティア総数も
二三名（内中学生八五
名）を数えました。『さく
らまつり』が地域のまつ
りとして定着してきたこ

寄稿

有馬の氷瀑（たき） 白石～百間～似位～七曲へ

中村 かほり



百間滝・・・滝の上を見ることができる



自然にできた氷の芸術作品

有馬からだとは大体は白石滝方面から登るのですが、川の遡上なので途中の流木にツラがぶら下がり、氷の芸術作品があちこちに見られとても感動を覚えました。この時はすぐそばの似位滝にも足を伸ばすことができました。これがまたすばらしかったのです。名前の如く、百間滝には劣らない音が雄大な滝でした。でもまだまだ上には上があり、出会った人が七曲滝が一番すばらしいと言われますが、途中の道が危険との事でこの日はここで断念する事にしました。そして二月、三度目の正直でとうとう難所の七曲滝へ。それはやはり聞きしに勝るもので雄大に見事に凍っているのを見ることが出来ました。氷の下からは、少し水の流れも聞こえました。それがこの氷瀑な



似位滝・・・百間滝に劣らない



七曲滝・・・途中のルートも難所あり

さくらまつり

広報部 井澤 淳子

昨年は、東日本大震災のため中止となった第10回さくらまつりが、4月7日(土)に開催されました。残念ながら、桜の花は開花まであと一歩というちょっと寂しい状態でした。途中、雪もチラつきましたが、多くの方々が来て下さり会場は賑わいました。

西宮市社会福祉協議会では東日本大震災の復興支援を続けていく為に、今回は東北特産品と一緒にグッズの販売やパネル展示もしました。

社協北六甲台分区では喫茶とパスタ、そしてスーパーボールすくいを行いました。パスタは完売したほか、寒かったためホットコーヒーも予想以上に多く販売できました。また、寒い中でも少し陽がさすと子ども達は冷たい水にも関わらず一生懸命にボールをすくっていました。終わったあとに好きなボールを一つもらうのにあれこれと悩みながら決める姿は真剣そのものでした。分区のテント内では、お年寄りをはじめ多くの来訪者が、コーヒーやパスタを味わいながら懇談する姿が見られ、開催中ずっと賑わっていました。

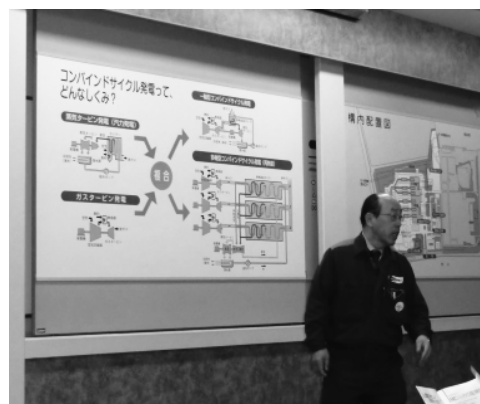
今年も、朝早くからテント張りや荷物の搬出・搬入に携わって頂いた皆さん、それぞれの屋台で担当頂いたボランティアさん、そして山口中学校の先生や生徒の皆さんの力をお借りして開催できました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。本当に有難う御座いました。

そして御来場いただきました皆様、また来年もよろしくお願ひします。来年は桜の花も少しは楽しめるくらいに咲いてくれますように祈りつつ・・・。



社協北六甲台分区のテント屋台

テント内で寛ぐ来訪者の皆さん →



火力発電と防災研修の旅

福祉講座バス研修

北六甲台五丁 南本 貴敬

冷たい風が吹く中でしたが、好天に恵まれ、第一研修地の姫路の関電火力発電所へ総勢二十九名で出発しました。道中の車の流れもスムーズで一時間余りで目的地に着きました。

早速工場内で説明を受け、工場の内外を案内して頂きました。この四十八万戸分の発電能力があるのだろうかと思うほど、工場の内外はきれいに整備されています。本当に安全に円滑に電力が供給されている様子が窺えました。また係の方には親切丁寧に案内して頂き、電力が発生するまでの工程等の良い勉強ができたと思われました。

一時間ほどの研修があったという間に終わり、次は昼食会場であるシーバル須磨へ向かいました。昼食を美味しく頂戴し、一休み。天

気をとりなおし、次の研修地「人と防災未来センター」へ。風が冷たく寒い中でしたが、たくさんの人で賑わっていました。最初に一・一七シアターでの震災追体験。これは迫力がありました。家屋の倒壊、大火災、高速道路の倒壊等、当時の恐怖の様子を思い起こさせてくれます。二度と体験したくないことです。

思えば震災直後に水を求めて走り回っていたことが懐かしく甦ってきます。大震災はいつやってくるかわかりません。この先やってくるであろう大地震に備え、地域の方との連携を密にし、助け合い、協力し合っていくたいと思ひました。

この研修旅行で、節電の大切さ、電気に対する心構え、防災に対しての家具の配置、非常用品の取り揃え等、多くのことを学ぶことができました。

有意義な研修旅行をありがとうございました。